

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業
「ITを活用した超高齢社会の到来に対応できる歯科医師の養成」
第1回 到達度評価委員会会議 議事録

【日時】2013年3月7日(木) 16:40 ～

【場所】5F カンファレンスルーム

【司会】井上美津子(昭和大学)

【出席者】井上美津子、久米徳明(昭和大学)、大森幹朗(札幌歯科医師会)、金子良司(盛岡市歯科医師会)、岡本 徹(大田区大森歯科医師会)

【欠席者】坂倉康則、西村丈裕(北海道医療大学)、木村重信、山本和博(岩手医科大学)

議 事 内 容

1. 今年度の事業計画の達成度

- ・2回のWSを通して、大学間および大学と歯科医師会員間の共通理解が深まり、またE-ラーニングの授業への活用などについても理解が深まっている。WSの報告書からみても到達度は高いと考えられ、成果も公表されている。
- ・歯学部3年生を対象にした「チーム医療と口腔医学Ⅰ」のE-ラーニングを活用した授業計画案は、2回のWSでかなり完成に近づいたと考えられる。

2. 次年度に向けて改善すべき点について

- ・今年度で新たに構築した「チーム医療と口腔医学Ⅰ」の講義を、昭和大学歯学部と岩手医科大学歯学部では平成25年度から実施の予定であるが、北海道医療大学歯学部でどの程度実現に持っていけるかが課題である。